

## 秦野市情報化推進委員会令和6年度第1回会議（会議概要）

日時	令和6年9月20日（金）午後1時30分～午後2時40分	
会場	秦野市役所3A会議室	
出席者	委員	浅川委員、岡本委員、岩崎委員、安藤委員、長瀬委員、平田委員、山口委員、吉田委員（8名中5名来庁、3名オンライン出席）
	事務局	森谷デジタル推進課長、西澤課長代理（デジタル推進担当）、古木課長代理（情報システム担当）、高橋主任主事
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員の交代について</li> <li>3 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) はだのICT活用推進計画の進行状況について <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 計画の全体像</li> <li>イ 個別事業の見直し</li> <li>ウ 個別事業の進行状況及び事業評価</li> <li>エ 個別事業の紹介</li> <li>オ 計画に関する意見</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) その他の取組紹介</li> <li>(2) 次期はだのICT活用推進計画（仮称）の策定について</li> </ol> </li> <li>5 閉会</li> </ol>	

次 第	会 議 概 要
開会	（デジタル推進課長） ・開会のあいさつ
委員交代	（事務局） ・委員交代のお知らせ （新任委員） ・あいさつ
事務局 あいさつ	（事務局） ・自己紹介

次 第	会 議 概 要
資料確認	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秦野市情報化推進委員会についての説明</li> <li>・ 配布資料の確認</li> </ul>
議題 1	<p>はだの I C T活用推進計画の進行状況について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料に基づき説明</li> <li>・ 説明内容について委員名簿順に質疑応答を実施</li> </ul>
意見 岡本委員	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイナンバーカード交付率の向上に苦勞しているとのことで、昨年も質問したが、出張申請お助け隊が好評ということをお話しいただいた。一年経ち、出張申請の回数、申請件数について教えていただきたい。また、好評だったという点について、どのように好評だったのか、追加情報もお願いしたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出張申請の件数や統計は手元にはないが、この9月から2か月間市内11公民館で出張申請を実施している。カード申請者は1回あたり10名弱、マイナ保険証登録者も約半数。アンケート結果では「地域に来てくれて助かる」、「不安に思っていたことを気軽に聞ける」との声が多く、概ね好評。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュレス比率について、資料にあった、17.92%と17.87%という数字が、キャッシュレス比率でよいか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おっしゃるとおり。キャッシュレス件数と金額という二つの視点で集計をしている。導入から半年時点の実績で、件数ベースでは17.92%で、金額ベースは17.87%とほぼ同じような数字になっている。資料に記載はないが、今年3月に鶴巻温泉弘法の里湯でもキャッシュレス決済を開始した。そちらの最新の状況では、キャッシュレス金額は約30%を超える。商業的な施設のニーズはより高いことが分かった。</li> </ul>

次 第	会 議 概 要
	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現金とキャッシュレス決済の併用は、過渡期で職員も大変だと思う。住民としては使える決済サービスがたくさんあるので、非常にありがたいと思う。</li> <li>・生成AIの活用について、去年は試行し、今年度、本格導入されたと思う。実際、生成AIを使う人と使わない人で二分化されたようだが、デジタル担当の方はどうか。また、普及・活用を増やしていくために、どんな工夫をするのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本格導入はまだしていない。生成AIは、技術的な部分等、いろいろ変化があるので、他の自治体の状況を見て導入の検討をしている。また、実務での利用は、ある程度のルールと凡例を周知する必要があると考えている。特にセキュリティ面を気にしながら、今年度は全庁への本格導入を検討している。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生成AIは実証実験を2回やって職員アンケート等も取った中で、使う職員はものすごく使うが、使わない職員は全くよくわからないので使わないという二極化が進む傾向がある。デジタル推進課としては、実務で活用できることを粘り強く周知していく必要がある。また、普段仕事でよく使うOfficeのWord、Excel、PowerPointといったソフトウェアの中で使えるAIもあるので、そういうものを導入するとより利活用は進むと考えており、検討を進めている。逆にお伺させていただくが、県ではどのような形で活用されているか、参考にお伺いしたい。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県でも導入して使っているが、同じような状況。使う人は使う使わない人は全然使わない。利活用の普及啓発にこちらも頭を悩ませている。ぜひ一緒に好事例を情報共有させていただければと思う。</li> </ul>

次 第	会 議 概 要
<p>意見 岩崎委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亡くなった時の手続きを一括で処理できるシステムを構築する予定はあるのか。マイナンバーカードで、一括でできたら良いと思うが。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お亡くなりになった方のワンストップ的なサービスは、本市では「お悔やみコーナー」という、遺族の支援窓口を設けている。事前にご予約をいただいて、亡くなられた方の情報を本市の方でも調べ、必要な手続きのご案内をさせていただく。その際には、その方の情報もある程度入れたような形でお渡ししてご案内するという事業は開始している。それぞれの業務はそれぞれのシステムで動いている部分もあり、その方の情報を伝達してボタンを押したら一斉に全部そういうのが出てくるものではなく、現状、それぞれの事務処理を経て行っている。申し込みの部分のデジタル化は今後検討していきたい。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の受付デジタル化について、事前に避難者カードを登録するシステムが導入されるとのことだが、具体的な仕組みと導入時期について教えていただきたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家族等の避難者情報を事前にスマートフォンやパソコンから登録し、避難所でQRコードを読み取ることで受付をスムーズに行うシステム。今年度中に導入予定。紙の受付も並行して行う。</li> </ul>
<p>意見 安藤委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生成AIの導入について、実際に業務で利用している部署があるか、また導入に際しての課題について教えていただきたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生成AIを組織として公的に活用している例はまだないが、個々の職員が自己責任で利用する場合もある。課題については、AIで作成された結果が事実と違う内容になる場合もある。作成さ</li> </ul>

次 第	会 議 概 要
	<p>れたものをすべて真実と鵜呑みにせずに、自分自身でしっかりチェックして、誤りがないか、人の目でのチェックは必要になる。ルール整備や事実確認が必要なため、今年度中にガイドラインを策定予定。</p>
<p><b>意見</b> 長瀬委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所の情報伝達において、登録したシステムを利用すれば、あらかじめ決められた避難所以外の出先の避難所でも情報が共有され、元の避難所にも連絡が行くシステムが有用。これにより二次災害の防止が期待できる。避難所間の情報伝達はどのように考えているのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所間の情報は、災害対策本部に集約され、そこから各避難所に伝達される。総合防災情報システムにより、デジタルで避難者の確認が一部できると思われる。通信が途絶えた場合も災害無線で本部と連携する体制を整備している。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色んな被害が身に迫っている時は、各避難所間の伝達が広がると良いと考えている。市民ニーズを把握し、避難所運営されると素晴らしいと思う。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見は防災課と共有する。</li> </ul>
<p><b>意見</b> 平田委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災における各フェーズ（平時、発災時、発災直後、復興期）の対策について、特に発災直後以外の対策があれば教えていただきたい。市民の皆様も多分、上流から下流の全て対策ができているからこそ、安心・安全に生活ができる。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平時の対応ではデジ田交付金を活用し、昨年度に災害時要援護者支援システムの更新を行い、居住地が分かるQRコード付き名簿を各地区の民生委員さん等に配布する体制を整えている。ま</li> </ul>

次 第	会 議 概 要
	<p>た、発災直後については、昨年度から罹災証明の電子申請を導入し、画像等をデジタルで添付いただいて、市役所に来ることなく状況をすぐに申請できる体制を構築している。</p>
<p><b>意見</b> 山口委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済の推進において、OMOTAN コインが始まると思うが、スマホを持たない高齢者や障害者向けのカード型対応を検討していただきたい。また、避難行動要支援者対策の推進と避難所受付のデジタル化との連携を進めるべきと考えるが、現状を教えていただきたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホを持たない方向けの、QR コードや IC カードによる対応を検討中と聞いている。</li> <li>・避難行動要支援者対策の推進については、名簿作成を進め、民生委員や地区配備隊避難所職員との情報共有を進め、状況を把握しやすくなる形になる予定。</li> </ul>
<p><b>意見</b> 吉田委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放施設の電子錠導入により、手続きの簡略化が進み、教職員の負担が減ったことに感謝。</li> <li>・新聞を読んでいない児童生徒が多いため、図書館の新聞記事データサービスを一人一台端末で活用できる形を考えていただけるとありがたい。</li> <li>・生成 AI の導入により、学校の教材作成や業務負担の軽減につながることを期待する。今後の研修等に学校現場もぜひ混ぜていただきたい。AI の活用に長けている児童生徒もいる一方、活用によるトラブルも懸念している。その点も踏まえ進めていただけるとありがたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会とも連携・確認しながら進めていきたい。</li> </ul>
<p><b>意見</b> 浅川委員</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政手続きオンライン化の推進において、オンライン申請の利用者の年齢層を調査し、取り残された人がいないか確認してほしい。また、デジタル人材育成について、どのくらいの時間を費や</li> </ul>

次 第	会 議 概 要
	<p>してどれくらい役に立ちそうか、効果を感覚的にわかる範囲で構わないので教えていただきたい。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢層の調査は今後検討する。デジタル人材育成はオンライン研修を活用し、デジタル推進課の職員を対象に実施中。まだ始まったばかりだが、結果を踏まえ、今後の庁内への展開を検討する。</li> </ul>
その他	特になし
閉会	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議参加のお礼及び閉会のあいさつ</li> </ul>